

# アルプス (ALPPS) 手術

肝・胆・膵外科 講師 かわばた やすなり  
川畑 康成

肝悪性腫瘍に対する治療は、肝切除が有効です。しかし、様々な理由(ウイルス性慢性肝炎、アルコール性肝炎、抗がん剤による慢性肝障害など)による肝機能・予備能不良な肝臓には、外科的切除術は不適切とされていました(図1)。原因は高率に発生する術後肝不全です。現在のところ、肝不全に対する有効な治療法は存在しません。

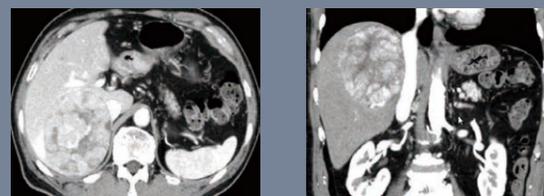
2012年にドイツから、肝予備能不良で大量肝切除を必要とする肝悪性腫瘍に対し、画期的な手術法が報告されました(Ann Surg 2012)。この術式の名称はAssociating Liver Partition and Portal vein embolization for Staged hepatectomy であり、頭文字を取ってアルプス手術(ALPPS)と呼ばれています。手術を2回に分割することで、従来は切除不能とされた肝腫瘍に対して、術後肝不全予防と腫瘍の根治性を両立させ得る術式です。

1回目の手術では、切除予定部位での肝離断および切除側の門脈結紮・塞栓を行います(図2)。7~14日後に行われる2回目の手術は、十分な肝再生肥大を確認しながら肝切除を行います(図3)。

当院肝・胆・膵外科では、高難度新規医療技術申請により2017年8月からALPPS手術を開始しています。現在まで、原発性肝癌(ウイルス性、アルコール性)、肝門部胆管癌、および転移性肝癌に対して、ALPPSを安全に行っています。

詳細はホームページを閲覧ください。  
<https://www.shimane-u-dgs.jp/227.html>

図1 原発性肝癌(アルコール性)



ICG-R15=21.7%

Alb=4.5  
PT=10.3sec (126%)  
TB=0.7



全肝容積:1381ml  
右葉容積:962ml (69.7%)  
左葉容積:419ml (30.3%)  
Functional-右葉容積:71.0%  
Functional-左葉容積:29.0%

図2 ALPPS 1回目:カントリー線で肝離断+右門脈結紮

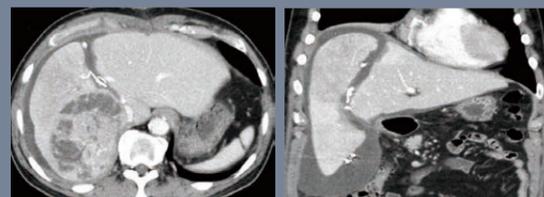
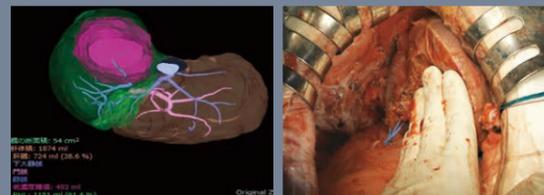


図3 ALPPS 2回目:肝右葉切除術



19日目の肝再生評価  
左葉容積:724ml (38.6%)  
Functional-左葉容積:47.5%

肝右葉切除後

## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

6月15日~7月14日

対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
6/15(土) 9:30~11:30	2019年度 島根県がんピアサポーター相談会	外来中央診療棟3階 がん患者・家族サポートセンター	一般	島根大学医学部附属病院
6/19(水) 6/26(水) 7/ 3(水) 7/10(水) 17:30~18:30	2019年度 栄養セミナー 島根大学医学部附属病院 栄養サポートセンター 准教授 矢野 彰三 6/19 第1回「栄養障害例の抽出・早期対応」 6/26 第2回「栄養療法に関する問題点・リスクの抽出」 7/ 3 第3回「栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応」 7/10 第4回「経静脈輸液適正調剤法の習得」	みらい棟4階 ギャラクシー	医療	島根大学医学部附属病院 栄養サポートセンター
6/29(土) 13:30~15:30	出雲市民フォーラム「島根大学病院の最新治療」2019初夏 皮膚科 講師 千貴 祐子 心臓血管外科 教授 織田 禎二 精神科・神経科 教授 稲垣 正俊	臨床講義棟1階 臨床小講堂	一般	島根大学医学部附属病院

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



# NEWS



## CONTENTS

- ・先進医療管理センター長就任のご挨拶
- ・間質性肺炎外来について
- ・抗線維化薬による進行の抑制
- ・アルプス(ALPPS)手術
- Associating Liver Partition and Portal vein embolization for Staged hepatectomy
- ・島根大学医学部における研修会・セミナー開催情報

# 先進医療管理センター長就任のご挨拶

鳥根大学医学部附属病院 病院長補佐 呼吸器・化学療法内科 教授 **いそべ たけし**  
**磯部 威**

地域の患者さんならびに住民の皆様に安心して安全な医療を提供することは鳥根大学医学部附属病院の重要なミッションです。医学は日々目覚ましい進歩を遂げており、全国の大学病院や研究機関で、最新の医療技術の研究・開発が進められています。

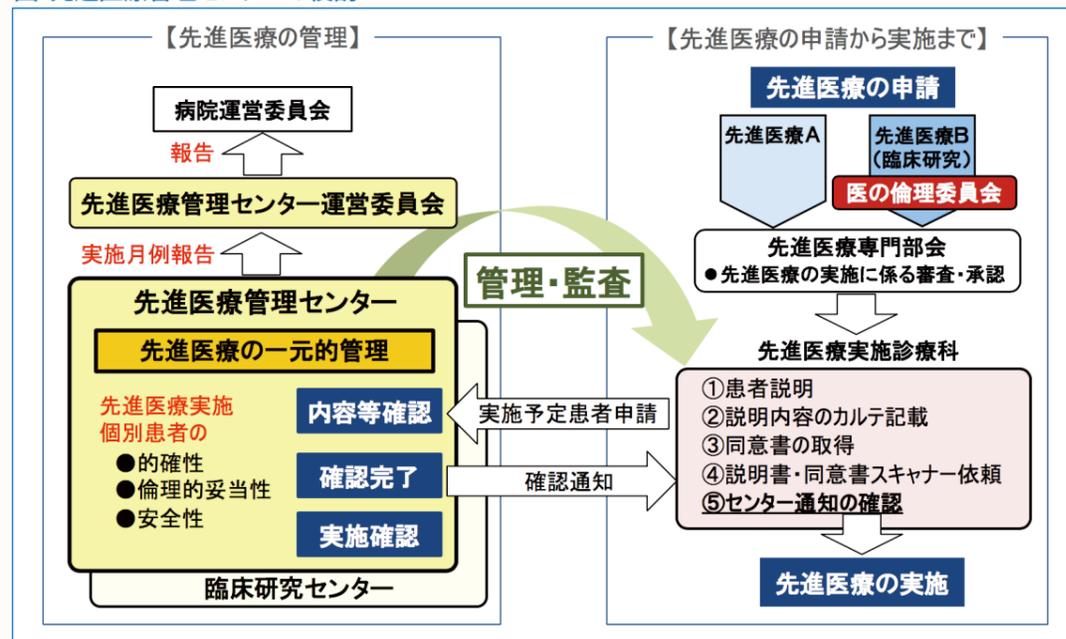
“先進医療”とはこれらの最新の医療技術のうち、公的医療保険の対象にはまだなっていないものの、その有効性及び安全性が一定の基準を満たし、厚生労働大臣によって定められた診断法や治療法です。先進医療は、未承認・適応外の検査薬等を使用しても人体の影響が極めて少ない「先進医療A」と、未承認・適応外の医薬品・医療機器の使用がなくても、実施環境や技術の効果等について、特に重点的な観察・評価を要すると判断される「先進医療B」の二つに分けられます。

先進性が高い医療技術ですので、医療技術ごとに適応となる疾患や症状、病状があらかじめ定められています。また、実施に当たっては高度な医療技術をもつ医療スタッフ、チームが必要で実施する医療機関は大学病院などを中心に特定されています。ここで十分に有効性及び安全性が確認されると、先進医療から公的医療保険の対象になる診療（保険診療）に切り替えられ、医療の進歩に大きく貢献することになります。

この度、当院では、先進医療の適格性、倫理的妥当性、安全性を管理し、実施状況の監査を行う目的で、“先進医療管理センター”を新たに設置することになりました（図参照）。病院長のもと、医学部附属病院のガバナンスを強化し、臨床研究センターと協力して適切な“先進医療”が実施されるように鋭意取り組んでまいりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



図：先進医療管理センターの役割



# 間質性肺炎外来について -抗線維化薬による進行の抑制-

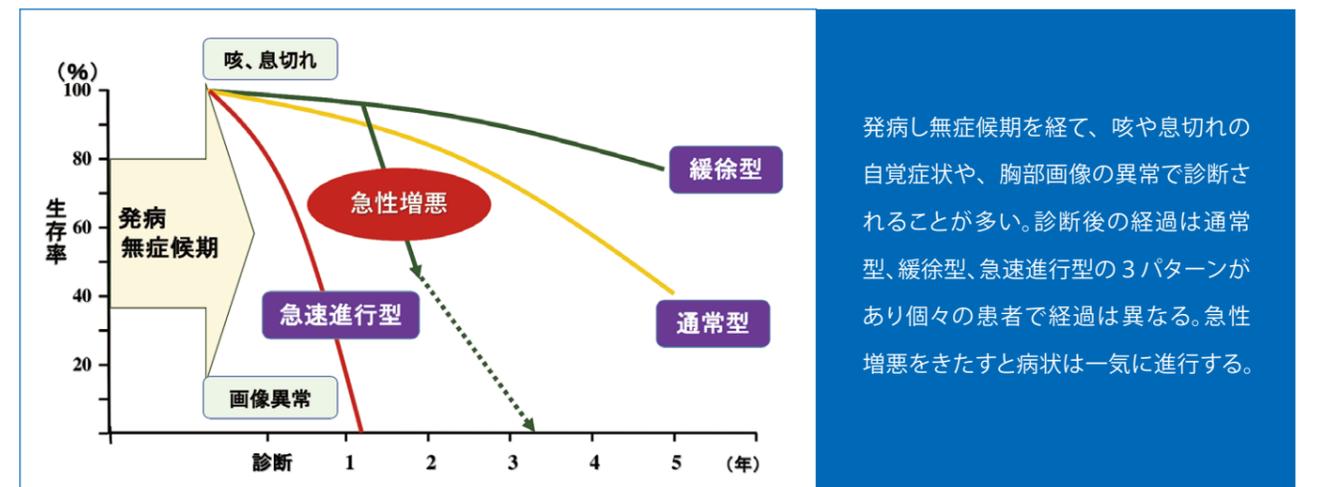
呼吸器・化学療法内科 教授 **いそべ たけし**  
**磯部 威**

間質性肺炎は病態が複雑で、疾患の種類が多彩であるため、正確な診断と適正な治療選択には、呼吸器内科医の専門的な知識が必要とされます。代表的疾患は特発性間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎がありますが、近年は薬剤性の間質性肺炎も注目されています。診断目的に、詳細な問診や高分解能CT、呼吸機能検査、血清マーカー、気管支鏡検査、気管支肺泡洗浄液の解析、胸腔鏡下肺生検が行われ、最終的には病理、放射線、呼吸器の各専門医が集まって行う集学的検討(MDD: multi-disciplinary discussion)により診断されます。当院には診療経験が豊富な専門医が揃っており、これらの診療にあたっております。

特発性間質性肺炎のうち最も頻度が高い特発性肺線維症(IPF: idiopathic pulmonary fibrosis)は難病に指定されており、個々の患者によって臨床経過が異なり、肺活量の経年的な低下は呼吸困難の原因となり日常生活の質を著しく低下させます。また、急性増悪は予後を不良とする重要な因子となります。本疾患は従来治療困難な疾患でしたが、抗線維化薬を使用することで呼吸機能の低下の抑制と急性増悪の抑制効果が証明されました。抗線維化薬にはピルフェニドンとニンテグニブの2種類がありますが、いずれも高価な薬です。一方でIPFと診断されると難病医療費助成制度や高額医療費制度を用いて経済的負担をかなり減らせることができます。

医療機関の先生方におかれましては、間質性肺炎が疑われる患者さん（胸部レントゲンで両側性の陰影を示したり、抗生剤が効きにくかったり、背中中で乾性ラ音を聴取する方など）がいらっしゃいましたら、一度当院の間質性肺炎外来に紹介していただくと幸いです。

特発性間質性肺線維症の経過



発病し無症候期を経て、咳や息切れの自覚症状や、胸部画像の異常で診断されることが多い。診断後の経過は通常型、緩徐型、急速進行型の3パターンがあり個々の患者で経過は異なる。急性増悪をきたすと病状は一気に進行する。

問合せ先 呼吸器・化学療法内科外来 0853-20-2381



島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告

## 出雲キャンパス学童保育『キッズクラブ太陽』 2019年度 入所者向けに塾(オプション)希望アンケート実施

ワーク ライフ バランス支援室 室長 たなか まなみ  
田中 真美

例年より長かった10連休のゴールデンウィーク(GW)も終わりもうすぐ初夏を迎える時季となりました。学童保育「キッズクラブ太陽」もこの4月から入所が25名となり、夕方には毎日小学校を終えた児童でとても賑やかな場となっています。

キッズクラブ太陽の売りであるスタッフによる宿題サポートはとても好評です。

この度、予めから計画の一つにありました学習塾の開始に向けて、アンケート調査を実施することとしました。今後、利用環境の一層の充実に繋げていきたいと思えます。



- 習字(火曜日)
- 英語(金曜日)

月に3~4回  
16時頃から30分~1時間程度を予定

ご報告

島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2019年6月

# お知らせ



## 患者さんとその家族のための宿泊施設 「医学部会館」と「だんだんハウス」

遠方から来院される外来患者さんや入院患者さんの付き添いのご家族が、ゆっくり寛げる宿泊施設としてオープンして以来、多くの方にご利用いただいております。医学部会館は平成18年から患者・家族の利用が可能となり、だんだんハウスは小児患者さんご家族のためのファミリーハウスのような利用を目的として平成29年に開設しました。どちらの利用者からも“何より、近くて便利”、“安くてありがたい”等、本音が伝わってくるお言葉をしばしばいただいております。

時期によっては、満室でお断りすることもあります。キャンセル待ちを希望される方には、すぐ連絡ができるように配慮し、また、医学部会館が満室でだんだんハウスに空室があれば、当日に限り、利用目的に該当しない患者・ご家族の場合でもだんだんハウスをご案内することもあります。お身体が不自由で、階段が使用できない方には、だんだんハウスの車いす利用可能な洋室を利用いただいてもできます。できる限り利用者のご希望に沿えるように心がけています。

医療サービス課では、患者さんやご家族の方のご意見・ご要望に耳を傾け、全ての患者さんにとってあたたかい病院であるように、これからも患者サービス部門でひたすら知恵を絞ってきたいと思います。

問合せ先 医療サービス課 TEL: 0853-20-2069

お知らせ

島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# お知らせ

## 患者図書室「ふらっと」について

今回は、病院1階の患者図書室「ふらっと」についてのご紹介です。普段よく質問されることについて、Q&A方式でまとめてみました。



Q どこにありますか？

A 外来1階(待合ホール奥)の患者休憩室隣りで8番窓口斜め向かいにあります。

Q 何時から何時まで開いていますか？土日祝日はお休みですよ？

A 6:30~21:00の間で、365日開いています！(2017年9月より)

Q 入院患者さんしか利用できませんか？

A 外来患者さんもお利用になれます。患者さんのご家族、付き添いの方もご利用いただけます。

Q 開設されてどの位ですか？

A 14年目になります。(2005年2月1日開設)

Q どんな本があるの？病気になる本ばかりなのでは・・・？

A 新刊の話題の本や児童書などを含む一般図書も多数揃っています。医療関係図書も、闘病記等の読み物から、専門的な医学書まで多種多様な蔵書です。新聞(山陰中央新報、朝日新聞、島根日日新聞)も毎朝置いてあります。

Q インターネット検索はできますか？

A パソコンを2台設置(8:30~17:15)していますので、ご利用ください。

Q 病気について調べたいけれど、どんな本がいいのかわかりません。

面白そうな、何かお勧めの小説がありますか？

A 専任司書が在室(平日8:30~15:30)していますので、どうぞ何なりとお尋ねください。

Q 本を借りて病室に持って行く事は出来ますか？

A 出来ます。一週間貸出しますので、何冊でもどうぞ。

Q 本が読みたいけれどまだ病室から出ることができません。

A 週3回の病棟巡回貸出(出張貸出)で、各お部屋まで伺います。また、各病棟談話室に、蔵書リストとリクエストボックスを設置し、読みたい本を病室にお届けするサービスもしています。

今後とも、利用者の皆様のための、善き学びと憩いの場であるよう、蔵書の充実とサービスの向上に努めたいと思います。どうぞお気軽に「ふらっと」お立ち寄りください。



# お知らせ



Vol.2

## 病院玄関で活躍する“コンシェルジュ”

毎朝、病院玄関で「おはようございます」の明るい声で患者さんを迎え、病院の一日が始まります。元号は平成から令和に代わり、コンシェルジュも代を重ねてきました。人は変わっても、病院スタッフとしてかけがえのない存在であり、患者さんをはじめ本院に不慣れの来院者にも頼りにされています。

コンシェルジュは、患者さんのサポートと誘導が主な業務ですが、病院玄関前に発着する車両のスムーズな運行にも目を凝らしています。お身体の不自由な患者さんの車椅子への移乗は、コンシェルジュの介助なくしてご家族のみでは困難ですし、時には男性職員も手助けに加わり、できるだけ速やかに対応できるよう心掛けています。一つひとつの気配りと利用者のご協力のおかげで、玄関周りの車がスムーズに流れています。

現在は、二人のコンシェルジュが交代で玄関周辺の業務を行っていますが、今後は病院ボランティアさんにも加わっていただき、より一層患者サービスに貢献できるように変わっていきます。

皆様のご理解とご協力を、これからもよろしくお願いいたします。



総合案内





島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告

## 届け、夜空からのメッセージ！ 子どもの日花火大会が開催されました

島根大学医学部附属病院では、5月5日(日・祝)に恒例の「子どもの日花火大会」が催され、入院中の子どもたちとそのご家族、約30名が小児病棟多目的ルームに集まり、心温まるひとときを過ごしました。

この花火は、出雲市在住の花火師 多々納恒弘さんが寄付を募り、花火師のボランティアの皆さんとともに当院に入院中の子どもたちへの子どもの日のプレゼントとして、毎年行っていたいただいているもので、今年で13回目となりました。

今年も250発の花火が神戸川の中州より約20分間打ち上げられました。大小、色とりどりの花火が轟(とどろき)とともに、夜空に途切れることなく花開き、子どもたちの瞳を輝かせました。

3歳の男児の入院患者さんの父親は、「今日は一時帰宅していましたが、この花火を楽しみにして病棟にきました。このような優しい気持ちをいただき、感謝します。」と話されました。

花火師の多々納さんは、「今年も皆さんの支援のおかげで打ち上げができました。これからもできる限り続けて、入院している子どもたちと親御さんを励ましていきたい。」と語られました。



花火を見つめる小児患者さんと御家族



多目的ルームから眺める小児患者さんたち



病院から見える花火

ご報告

島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告



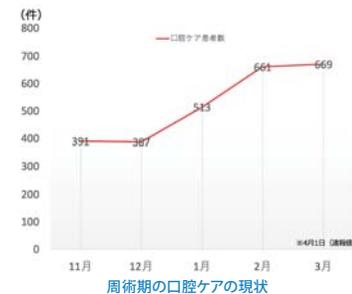
## 島根大学医学部附属病院 口腔ケアセンター開設のご挨拶

口腔ケアセンター センター長 かんの たかひろ 管野 貴浩  
副センター長 もとおか あきひろ まつだ ゆうへい 本岡 明浩・松田 悠平

「周術期」とは、手術とその前後(入院から回復まで)の時期を指す言葉です。

この時期は、患者さんにとって身体的にも精神的にも大きな負担がかかります。

当院では大きな手術に備え、医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師、リハビリテーション部療法士など様々な専門家が連携し、「周術期管理チーム」として手術の前からサポートを取り組み、合併症の低減につなげてきました。当院歯科口腔外科においては、これまで「周術期管理チーム」として、周術期患者さんの



「口腔ケア」を実施してまいりました。「口腔ケア」は口腔内清掃のみならず、口腔の機能を維持・管理することです。

口腔内には、歯垢・歯石や義歯など大変多くの細菌が常在し、全身に多大な悪影響を及ぼします。そのため、「口腔ケア」を実施することにより、とくに全身麻酔で手術を受ける患者さんの準備に必要であり、合併症低減対策の一環です。この口腔ケアの効果は、胃がんや食道がん手術後の肺炎リスクが低下する、全身手術の術後30日以内の死亡数の減少が報告され、合併症低減の効果とQOLの維持、向上で示されています。

しかし、当院手術部での手術件数の増加とがん治療患者さんの増加により、院内全てのニーズに対応しきれませんでした。そこで、周術期管理チームとの連携体制のもと、「口腔ケアセンター」を2019年1月1日より仮運用し、5月1日より、従来までの院内での口腔ケアを必要とする患者さんに加え、全身麻酔手術を受ける全ての患者さんを対象とした口腔ケアを行う、口腔ケアセンターを開設いたしました。

当院で手術治療を受けられるすべての患者さんの合併症予防への一助となれるよう尽力すると共に、島根県域の口腔ケアに関する情報発信、研修・研究の拠点を目指し邁進してまいります。皆様のご理解、ご支援、ご指導のほど、何卒よろしくお願い致します。

ご報告

島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告



島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告



## 慢性腎臓病(CKD)対策の最新の動向と当科の取り組み

腎臓内科 診療科長 伊藤 孝史

厚生労働省は腎疾患対策の方向性をとりまとめ、「今後の腎疾患対策のあり方について」を平成20年3月に報告しました。「腎機能異常の重症化を防止し、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止すること」、更に「慢性腎臓病(CKD)に伴う循環器系疾患(脳血管疾患、心筋梗塞等)の発症を抑制すること」が目標に設定されました。それから10年が経過し、平成30年7月に「腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～」がとりまとめられました。

それに対応するように、腎臓病に関する普及・啓発、疾患克服、社会貢献を目的として、「特定非営利活動法人日本腎臓病協会」が平成30年2月に設立されました。診療科長の伊藤が日本腎臓病協会の幹事長に就任し、島根県はもちろんのこと、全国でのCKD対策の推進に取り組んでいます。

島根県内では、平成23年1月に当科を中心に島根県慢性腎臓病対策協議会を立ち上げ、現在年に2回の啓発活動を行なっています。3月には世界腎臓デー(毎年3月の第2木曜日)に啓発活動でビラ配り、そして9月には当科、栄養治療室、そして他診療科合同で市民公開講座を開催しています。また、松江市、浜田市、江津市でも島根県慢性腎臓病対策協議会後援の市民公開講座、啓発活動が開催されています。

これからも、「腎臓病の克服」に向けて、今できることに最善を尽くしていきたいと考えています。

### 腎疾患対策検討会報告書(概要) ～腎疾患対策の更なる推進を目指して～

#### 全体目標

自覚症状が乏しい慢性腎臓病(CKD)を早期に発見・診断し、良質で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防を徹底するとともに、CKD患者(透析患者及び腎移植患者を含む)のQOLの維持向上を図る。

#### 達成すべき成果目標(KPI)

- ① 地方公共団体は、他の行政機関、企業、学校、家庭等の多くの関係者からの参画を得て、腎疾患の原因となる生活習慣病対策や、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの活用等も含め、地域の実情に応じて、本報告書に基づく腎疾患対策に取り組む。
- ② かかりつけ医、メディカルスタッフ、腎臓専門医療機関等が連携して、CKD患者が早期に適切な診療を受けられるよう、地域におけるCKD診療体制を充実させる。
- ③ 2028年度までに、年間新規透析導入患者数を35,000人以下に減少させる。(2016年の年間新規透析導入患者数は約39,000人)

#### 実施すべき取組

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <b>1. 普及啓発</b><br>① 対象に応じた普及啓発資料の開発とその普及<br>② 糖尿病や高血圧、心血管疾患等と連携した取組<br>③ 地域での取組の実施状況等を把握し、活動の効果の評価、効果的・効率的な普及啓発活動の共有、連携   | <b>3. 診療水準の向上</b><br>① 関連学会等が合同で協議し、推奨内容を合致させた、ガイドライン等の作成<br>② 利用する対象を明確にしたガイドライン等の作成・普及<br>③ 関連する疾患の専門医療機関との連携標準等の作成・普及 | <b>5. 研究の推進</b><br>① 関連学会との連携による、データベース間の連携構築<br>② 研究及び診療へのICTやビッグデータの活用<br>③ 臨床共同試験を含めた臨床試験の基盤整備<br>④ 病態解明に基づく効果的な新規治療薬の開発<br>⑤ 再生・オルガックス(ゲノム等)研究の推進<br>⑥ 腎臓病の基礎研究や国際競争力の基盤強化 |
| <b>2. 医療連携体制</b><br>① かかりつけ医から腎臓専門医療機関等や糖尿病専門医療機関等への紹介基準の普及<br>② 定期的な健診受診を通じた、適切な保健指導や受診勧奨<br>③ 地域でCKD診療を担う医療従事者や腎臓専門医療機関等の情報共有・発信<br>④ かかりつけ医等と腎臓専門医療機関等が連携したCKD診療連携体制の好事例の共有と均てん化 | <b>4. 人材育成</b><br>① 腎臓病疫学指導士等のCKDに関する基本的な知識を有するメディカルスタッフの育成<br>② かかりつけ医等と腎臓病疫学指導士等との連携、また、関連する疫学指導士等との連携推進               |  |

### 第8回 市民公開講座 慢性腎臓病(CKD)対策 ～あなたの腎臓、気にしたことはありますか?～

日時: 平成30年 9月9日(日曜)  
13:30～15:30(開場12:30)  
場所: 出雲市民会館 3階 301会議室  
島根県出雲市塩治町南町2-15

参加費 無料 先着 150名

#### 第8回 市民公開講座 プログラム

- 総合司会: 島根大学医学部附属病院 腎臓内科 診療科長 伊藤 孝史 先生
- <13時30分～13時55分>  
「CKDについて」  
講師: 島根大学医学部附属病院 腎臓内科 助教 江川 博博 先生
  - <13時55分～14時20分>  
「CKDの時の薬物投与に関する注意事項(仮)」  
講師: 島根大学医学部附属病院 薬剤師 北郷 真史 先生  
～休憩(10分)～
  - <14時20分～14時55分>  
「CKD患者の療養指導」  
講師: 松江赤十字病院 透析センター 看護師 坂根 彰 先生
  - <14時55分～15時20分>  
「CKDの食事療法～毎日の食事で腎臓を守ろう～」  
講師: 島根大学医学部附属病院 栄養治療室 管理栄養士 矢田 望沙子 先生
  - <15時20分～15時30分>  
～我々に皆様からのご質問にお答えします～

## 天理教ひのきしん隊のボランティア活動

当院は、各種団体等のボランティアの方々にお世話になって環境整備を行っています。

また、職員・学生による清掃活動や、外部委託による環境整備も実施しています。

今回は、天理教ひのきしん隊(代表:石橋佑二氏)の環境整備ボランティア活動のご報告です。

天理教ひのきしん隊の皆さんには、例年昭和の日に清掃活動を行っていただき、今年は4月29日に実施していただきました。当日は曇り空となり、過ごしやすい気温の中、午前9時～11時過ぎまでの間、子供さんからご年配の方まで幅広い年齢層の参加者約150名により、病院正門からロータリー周辺、第2研究棟周辺、立体駐車場南側駐車場周辺の広範な場所の草刈、清掃を行っていただき、作業終了時には大変きれいな景観になりました。

また、年間を通して代表の石橋さんにお世話をいただいておりますC棟5階の花壇ですが、当日は多くの方により雑草取り等の作業が行われ、きれいに整備された花壇に患者さんも楽しんでいただけたことと思います。

当院の美観を維持するボランティア清掃活動を行っていただいた天理教ひのきしん隊の皆さん、本当にありがとうございました。



島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース

2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2069 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告



## 「看護の日」のイベントを開催しました

看護部長 たなか まなみ  
田中 真美

「看護の日」のイベントを行いました。

5月12日は「看護の日」。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」に制定されています。21世紀の高齢社会を支えていくために老若男女を問わずだれもが看護の心、ケアの心、助け合いの心を、一人ひとりが分かち合い育むきっかけとなるように旧厚生省により制定されました。5月12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」として、「看護の心をみんなの心」をメインテーマに全国各地でイベントが行われます。

当院看護部でも5月13日(月)に看護の日にあわせて、昼と夜の2部構成でイベントを開催しました。

昼の部は、外来患者さん、一般の方を対象にリラックス効果のある3種類のアロマオイルから好みの香りを選択しパッチテストを受けた後、緩和ケア認定看護師が中心となり患者さんやご家族の方にハンドマッサージ、糖尿病認定看護師によるフットケアを行いました。気持ちよくなって眠くなると好評でいつのまにか行列になっていました。また、地域包括ケアシステム実現に向けた取り組みの一つとして、おむつフィッターの資格を持つ看護師によるおむつの基本的なあて方についての講座とデモンストレーションを行いました。おむつの適切な選び方、尿漏れを防止する方法、股関節の可動域を妨げないあて方等のアドバイスを受けて、来場者の方は、真剣なまなざしで聞き入り、『家庭での介護に役立つ』、『おむつを買いにいっても誰もあて方を教えてくれる人はいない。こんな機会があつてとても助かった。こんな講座をもっとしてほしい』等の声もあり絶賛でした。高齢者を支える方の困りごと等、高齢社会のニーズを目の当たりにする機会にもなりました。

夜の部は、入院患者さんを対象に「看護職員による小さな音楽会」を開催しました。フルート演奏に始まり、新人看護師によるしまねっこダンス、ピアノ演奏に合わせて男性看護師、女性看護師による合唱を披露し、女声合唱では、看護師の手作り紙飛行機も舞いました。最後に会場の入院患者さんやご家族の方と一緒にフルート演奏で「花は咲く」の合唱をして看護の日のイベントを終了しました。患者さんや病院職員も大勢集まり楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



島大病院ニュース 2019年6月

# ご報告



## 病院機能評価結果(認定)のご報告

病院機能評価受審WG代表 病院医学教育センター センター長 ひろせ まさひろ  
廣瀬 昌博

公益財団法人日本医療機能評価機構では、昨年4月特定機能病院を対象とする「一般病院3」を加えた病院機能評価が開始され、本院は昨年11月28～30日の3日間、訪問審査を受審いたしました。その評価結果が評価機構より届きましたのでご報告いたします。

病院機能評価受審は書面審査と訪問審査の2つがあります。また、本院は一般病院3とともに機能別「精神病院」をも受審しています。当日は、診療系、看護系および事務系各2名、医療安全および薬剤の専門家各1名、精神科専門家1名、OJT2名およびリーダー1名の計12名による訪問審査が実施されました。以前にもお知らせしていますが、「一般病院3」版は、医療の安全確保や特定機能病院のガバナンス強化に関する社会的要請に対応するものです。しかも、病院活動を継続的に改善する仕組みを有することが求められています。

本院では、これまでとは異なる「一般病院3」版の受審に備え、受審の1年前から受審対策プロジェクトチームを設置し、その下部にワーキング・グループ(WG)を発足致しました。WGは、第1領域「患者中心の医療の推進」、第2領域「良質な医療の実践」、第3領域「良質な医療の実践2」および第4領域「理念達成に向けた組織運営」の4つの領域89項目について、現在の状況およびC評価となる状況の確認と他の医療施設に見本となる活動(S評価)を提案し、院内活動として実践するなど、あらゆる準備を致しました。

例えば、S評価を目指したミニWGも発足し、褥瘡対策、肺塞栓・深部静脈血栓防止、画像検査結果情報共有、Partnership Nursing System看護活動推進、Rapid response system推進、高度外傷センター設置効果検証などの取り組みを行ってまいりました。受審直前の2週間は全診療科・部署ならびに放射線治療科玉置講師、リハビリテーション科酒井講師と白石看護師長の全面的な協力を得て、各診療科の一つの症例について、医師、看護師をはじめとする多職種によるケア・プロセスシミュレーションを何度も繰り返しました。

以上のような甲斐あって、5月10日付で日本医療機能評価機構より認定の報告をいただきました。これからも地域の患者、住民の皆様にご安心いただける、安全で良質な医療を提供してまいりたいと思います。



2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2019年6月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# 認定証

Certificate of Accreditation



認定第JC9号  
Accreditation Number

副機能：精神科病院  
Psychiatric Hospital

機能種別版評価項目3rdG：Ver.2.0

病院名  
Hospital Name

島根大学医学部附属病院  
Shimane University Hospital

殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める  
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory  
compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2018年3月17日～2019年12月31日  
交付日：2019年5月10日

公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

代表理事 理事長 河北 博文  
Chairman of the Board Hirobumi Kawakita



# 認定証

Certificate of Accreditation



認定第JC9-4号  
Accreditation Number

主たる機能：一般病院3  
Hospital Type 3

(主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する  
病院または準ずる病院)

機能種別版評価項目3rdG：Ver.2.0

病院名  
Hospital Name

島根大学医学部附属病院  
Shimane University Hospital

殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める  
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory  
compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2018年3月17日～2019年12月31日  
交付日：2019年5月10日  
初回認定：2003年3月17日



〈認定4回目〉

公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

代表理事 理事長 河北 博文  
Chairman of the Board Hirobumi Kawakita

